

編集後記

2006(平成18)年1月にPFRが創刊され、プラズマ・核融合学会誌が和文誌として生まれ変わって1年が過ぎました。PFR創刊前、編集委員会では英和分離後の和文誌の内容について議論し、従来の記事構成に加えてコミュニティ誌としての機能を強化するという指針の下、いくつかの投稿カテゴリを新たに作りました。個人や研究グループのプロジェクト研究の成果を紹介するプロジェクトレビュー、博士・修士の学位を取得したばかりの新人研究者の学位論文を紹介する博士・修士論文紹介、投稿者によって企画され、まとめられた、「解説」や「小特集」に相当する研究最前線などで、これまでにあわせて10件程度の投稿をいただきました。ますます多くの学会員が、学会誌を研究開発活動アピールの場として利用していただければ幸いです。

さて現在学会誌の柱となっている記事は、編集委員会でも企画する解説、小特集、講座です。通常、掲載月の10ヶ月前に編集委員が企画を提案し、3~4回(3~4ヶ月)程

度編集委員会で内容について議論します。編集委員会で承認されると、著者に執筆依頼状をお送りします。その後2ヶ月程度で初稿をいただき、担当編集委員による校閲・原稿修正、ゲラ刷りチェックなどを経て、学会誌に掲載されています。著者の皆様には、原稿執筆のために時間を捻出していただき、たいへん感謝しております。心苦しいのは、いただいた原稿・図の修正や用語集作成をお願いする時です。本学会員の研究分野は、基礎実験から核融合プラズマ、プラズマ応用、超伝導や材料損傷を扱う核融合炉工学まで、たいへん広がっています。コミュニティ誌としては、異なる研究分野の会員が読んでも、わかりやすい記事や図を掲載することが望まれ、編集委員会でも特に議論のあるところです。皆様が学会誌の原稿を執筆される際、担当編集委員が原稿等の修正をお願いする際には、どうか笑って修正に応じていただけますよう、よろしく願い申し上げます。

(増崎 貴)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	高村 秀一	副 会 長	藤原 正巳 松田慎三郎	常務理事	岡村 昇一(総務委員長)
理 事	秋山 秀典 尾崎 章(財務委員長) 佐野 史道 畑山 明聖 森 雅博(広報委員長)		今井 剛 際本 泰士(広告委員長) 田中 和夫(編集委員長) 浜口 智志(出版委員長) 吉田 善章 藤山 寛		奥野 健二(プログラム委員長) 佐藤浩之助(企画委員長) 畠山 力三 本島 修
監 事	長谷川 満				

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 田中和夫(阪大)

エディター 関子秀樹(九大), 関 昌弘(RIST), 田中雅慶(九大), 福山 淳(京大), 村上匡且(阪大), 行村 建(同志社大)

編集委員 荒巻光利(名大院工), 飯塚 哲(東北大院工), 石黒静児(核融合研), 岩尾 徹(武蔵工大), 岩切宏友(九大応力研), 上田良夫(阪大院工), 越智義浩(原子力機構), 片沼伊佐夫(筑波大プラズマ), 門 信一郎(東大高温プラズマ), 加藤太治(核融合研), 北島純男(東北大院工), 北野勝久(阪大院工), 小口治久(産総研), 佐伯紘一(静大理), 重森啓介(阪大レーザー研), 洲 亘(原子力機構), 妹尾和威(核融合研), 高橋栄一(産総研), 高山有道(核融合研), 谷口和成(京都教育大), 永岡賢一(核融合研), 長崎百伸(京大エネ理研), 野崎智洋(東工大院), 平松美根男(名城大理工), 増崎 貴(核融合研), 山内有二(北大院工), 山本 巧(原子力機構)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第83巻第5号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <http://www.jspf.or.jp/> 定価1,365円(本体1,300円)

印 刷 株式会社荒川印刷

2007年(平成19年)5月25日

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月第1火曜日に開かれています。但し、都合により変更になる場合があります。